



2021.8.5

No. 331

MONTHLY

れんごう



<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F

発行責任者 藤盛敏弘
TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

2021男女雇用機会均等法集会をオンライン開催 男女平等な社会の実現を目指して 107名が参加

連合は、男女平等な社会の実現のために男女平等政策を策定し、その実現に向けて取り組みを進めている。関連課題の取り組みの検証と着実な前進をめざすため、6月を「男女平等月間」と設定し、連合北海道としてもその一環として、6月5日「男女雇用機会均等法集会」をオンラインで開催した。3産別8地区107人の参加のもと、働きやすい職場づくりについて確認した。

連合北海道女性委員会・金子ユリ委員長のあいさつでは、コロナ禍の経験から、労働組合の活動スタイルを見直し、参加参画の幅を広げ、女性の課題の克服に結び付けていく必要性、さらに、「第4次男女平等参画推進計画プラス」の総括をまとめ、新たに10月からスタートする「ジェンダー平等推進計画」の推進を呼びかけた。

その後、「女性活躍の推進から誰もが働きやすい職場へ」と題し、厚生労働省北海道労働局雇用環境・均等部の栗山遼子部長からご講演をいただいた。

栗山部長からは、M字カーブ(女性の就業率が出産・育児期に落ち込む現象)は解消されつつも、就業率や平均勤続年数など男女間格差が大きく、働きたくても働けない人が多いこと、さらに、格差解消には賃金面だけでなく継続就業も重要で、夫の家事・育児時間が長いほど、妻の継続就業割合や第2子以降の出生率が高い傾向があることから、就業継続のための選択肢として「家事・育児」を意識することの必要性について話された。

また、夫が育児休業を取得することで、妻の育児不



安の軽減や就労継続の維持がはかられ、妻の生涯所得に1.6億円以上の大きな違いが出るとした事例も紹介された。

「妊娠を理由とした不利益取り扱いが『違法行為』である」との認識が不十分であるなど、自分の会社の問題点に気づいていない場合が多いことにも触れられ、働く人を大事にし、意見の言いやすい職場環境の整備の重要性を改めて確認した。

最後に、女性活躍推進に関する行動計画を策定し取り組むことは、誰もが働きやすく多様性を踏まえた個人を尊重した職場につながることから、職場改善にむけて、男女関係なく話し合い、労働組合としても計画をブラッシュアップしてほしいというまとめで講演が終了した。

ろうきんからは「可処分所得(使えるお金)を増やしましょう」と題し、女性の声をもとに作成したパンフレット



を使い、生活に関わる必要資金の事例紹介のほか、フルキャッシュバックサービスや職場での相談対応、労働組合と連携したセミナー開催など、ろうきんならではの強みについてお話をうけた。

連合北海道齊藤勉副事務局長からの総括では、「心理的安全性」を高める職場と労働組合の組織運営が重要であり、職場におけるリスクコミュニケーションの沈黙を防ぐためにも労働組合の果たす役割は大きく、まずは、性別や年齢による役員構成を意識し、労働組合における心理的安全性を確保していこうというまとめがあった。

私たちは今集会で、男女平等月間を通じて男女平等

の理念を社会に啓発するだけでなく、私たち自身が制度・政策を学び、声を出すことで、労組・職場・社会を変えていくことの必要性を学んだ。

今回の集会には、連合本部から井上久美枝総合政策推進局長も参加くださり、最後には北海道の仲間へ力強いメッセージをいただいた。

女性が生きやすい社会は誰もが生きやすい社会。男性・女性問わず全ての方が安心して生活できる社会を作るため、私たちはこれからも取り組んでいく。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=5603>

各地の大学で「北海道若者応援プロジェクト」

続報 全道に広がる食の支援行動

●2021年6月16日／函館大学・函館短期大学

6月16日、函館大学大講堂にて、「どうなん若者応援プロジェクト」In函館大学・函館短期大学として、同大学の学生への食の行動が無事終了した。今回は函館大学に加え、同じ系列の函館短期大学の学生の皆さんも対象として実施した。

大学のお昼休みを使って支援がスタート。大学の皆さんのご協力もあり、お昼に校内アナウンスでの周知で学生が来場。この日用意された150人分の食糧すべてが寄付で賄われていることを、配付したチラシを見て知った学生の皆さんはみんな驚いていた。



●2021年6月17～18日／酪農学園大学

江別市にある酪農学園大学で6月17～18日、「食」の支援が開催された。酪農学園大学での支援は当初5月の予定



だったが、緊急事態宣言の発出により今回の日程に延期しての開催となった。

当日は、スタッフによる食材の点検、動線や看板などの確認をし、午前10時に開場。入口での受付ののち、会場内の「密」を避けるうえで、入場者数に一定の制限を行って場内へ!

テーブルいっぱいには並べられたお米やレトルトカレーなどの食品、石けんなどの日用品に、訪れた学生の皆さん持参のマイバックも満杯状態になることも。2日間で800名近くの学生の皆さんが来場された。

「ありがとうございます」「たくさん頂いて本当に助かります」との声や、実習が終わって駆け付けてくれた方など、元気な学生の皆さんの姿が印象に残った2日間だった。

●2021年6月17～18日／北海道教育大学釧路校

「ほっかいどう若者応援プロジェクト釧路」の第2弾として、6月17・18日の両日、北海道教育大学釧路校での食材支援を実施し、予定数の150名分を全て配付することが出来た。

配付初日の17日には、会場となった食堂前の受付に、開始時間の10分前から学生が並びはじめ5分ほど早く開始、

食材を全て2種類の袋に詰め、極力立ち止まることがないよう動線を明らかにし、床面には目印を設置するなど可能な限りの感染対策を施した中での配付となった。

北海道教育大学生協釧路支部の小杉山支部長より、「コロナで生活に苦しむ学生に、多くの食材の支援が出来たこと

は大変うれしい。1,500パックもの『パックごはん』を寄付頂いたJT道東釧路支店様をはじめ、寄付を頂いた多くの企業・団体・個人に感謝いたします」とのコメントを頂いた。

今回の食材支援に向け、6月8日18時から北海道教育大学学生協釧路支部の「ホームページ」「ツイッター」「店頭ポスター」を通じて事前申し込みを開始したところ、翌朝8時に



は配付数の150名に達する応募があった。緊急事態宣言期間中のアルバイトの自粛により、厳しい生活の実態が明らかになった。

また、申し込みの際のアンケートでは、「2019年度(新型コロナ感染症流行前)と比べてどの程度収入が減りましたか?」の問いに対し、回答数総体の31%が「1割から3割程度」、35%が「4割から7割程度」、19%が「8割程度」減ったという、想像以上に厳しい実態が明らかになった。また、その内82%がアルバイトでの収入減が原因であり、収入減をカバーするためにまずは食費を切り詰めるという、コロナ禍で困窮する学生がいっそう増えている現実を再認識する結果となった。

2日間の食材支援を終了し、学生からは、「食料品を渴望しています。ありがとうございました」「お米などの食料配付嬉しいです。不織布マスクの配付をしてほしい」「今後もこのような支援をして頂けると幸いです」など多くの率直な言葉が寄せられた。

●2021年7月2日／北海道教育大学函館校

7月2日、北海道教育大学・函館校の学生さんへの「食の支援」が無事終了した。

前日にスタッフ全体で食材の準備と打ち合わせを行い、当日は15時にスタート。運営のほとんどを大学生協学生委員会「がっちゃん」の皆さんにお手伝いいただいたが、会場での大学生協職員の皆さんと学生さんたちとのコンタクトが大変上手く取れていた。当日は200人分のセットを用意し配付を終えた。

また、JA今金町(瀬棚郡今金町)の皆さんには、今回をはじめ、道南地域での「食」の支援実施に際し、大変お世話になっている。



●2021年7月7～8日／北海道千歳リハビリテーション大学

7月7・8日の両日、北海道千歳リハビリテーション大学(千歳市)にて「食」の支援が開催された。



北海道千歳リハビリテーション大学には大学生協組織はないが、学生支援に対する大学側からの希望もあり、今回実施に至った。

前日の食材の準備から当日まで、大学職員の皆さんのほか学生委員会の皆さんが運営のほとんどを担い、来場した学生さんとのフレンドリーなやり取りが印象的だった。

2日間で150名分の食材セットを用意し配付。会場はもとより、校内ですれ違う学生の皆さんの「こんにちは」との元気なあいさつに、手伝いにお邪魔した若者応援プロジェクト実行委員会のメンバーも何か元気をいただいた気がした。



8月の主な動き

■8日(日)～9日(月)
平和行動 in 長崎

■18日(水) 16:00/基幹労連会議室
金属機械部門連絡会第5回幹事会
■25日(水) 10:15
第10回執行委員会

イベントカレンダー

■25日(水) 13:30
第10回地協事務局長会議
■26日(木) 13:30/WEB
中央執行委員会

住宅生協の 戸建・マンション リフォームプラン

2022年3月31日まで

水廻り改修工事で「安心・安全・快適」

システムキッチン(国内メーカー)



I型255cm 標準工事費込 **715,000円**~

※写真は全てイメージです。※札幌近郊までの価格で地域によっては若干金額が変わる場合があります。※一度、現地調査をさせていただきます。

システムバス(国内メーカー)



1坪タイプ・0.75坪タイプ 標準工事費込 **740,000円**~

シャワートイレ一体型便器 (国内メーカー)



標準工事費込(内装含む)

154,000円~

洗面化粧台 (国内メーカー)



幅60cm・幅75cm 開き扉 LED照明

標準工事費込

75,000円

給湯機【石油給湯機】 (国内メーカー)



標準工事費込

165,000円~

玄関ドア 断熱仕様



標準工事費込 **264,000円**~

複層ガラス交換



ガラスの内部は汚れ!

ガラスの交換で解決!

その他 畳交換、クロス張替、レンジフード交換、屋内外間わず様々なお悩みに対応致します。お気軽にお問い合わせ下さい。



お気軽にご相談下さい!!

お見積り
無料

北海道住宅生協

(北海道勤労者住宅生活協同組合)

〒060-0034 札幌市中央区北4条東2丁目7-6

建設業(般・1)石狩第16756号
宅地建物取引業・石狩(16)第237号
(社)北海道宅地建物取引業協会会員

お問い合わせは

☎ **0120-686-911**

H P ▶ <http://www.hjs.or.jp>

E-mail ▶ jspkoho@hjs.or.jp

取組金融機関
八ろっさん



住宅生協は営利を目的としない、低廉で良質な住宅を勤労者に提供することを目的として設立された生協です。出資金をお支払いいただき、組合員になりますとご利用いただけます。